

取扱説明書

保存用

日立LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

軒下用LEDダウンライト(埋込穴φ150タイプ)

日本国内用

型式			
光源色	FHT24形1灯相当	FHT32形1灯相当	FHT42形1灯相当
(昼白色)	WLDE2307WN	WLDE3307WN	WLDE4307WN
(電球色)	WLDE2307WL	WLDE3307WL	WLDE4307WL

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

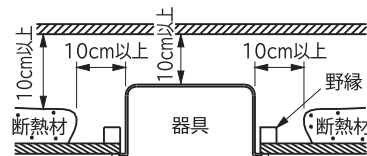
工事店様へ この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

- 取付工事は「取り付けかた」に従い、確実に行う。※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 本器具は一般の埋込み器具です。断熱材・防音材をかぶせて使用しない。
使用する場合は下図のように器具との隙間を10cm以上離すこと。※火災の原因となります。
- 器具と被照射物は10cm以上離すこと。器具の近くに可燃物等(ドアの開閉範囲、家具、布、紙等)を近づけない。
※過熱により火災の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の器具外郭が、天井内の造営物・ダクト・電気配線等の設備に触れない様に施工する。
※火災の原因となります。
- 壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしない。
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しない。
※火災・感電の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



注意

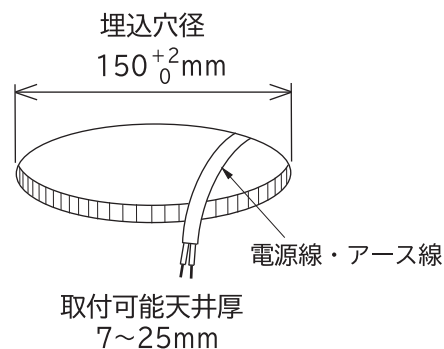
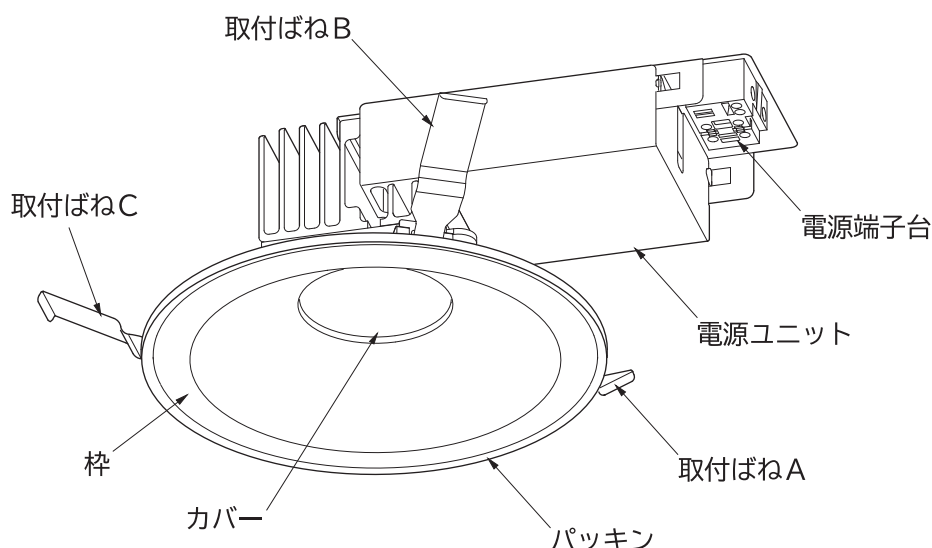
- 本器具は軒下用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接あたる場所では使用しない。
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。
※器具の破損によりけがの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない。※火災、感電、不点灯、絶縁不良の原因となります。
- 調光器と組み合わせて使用しない。※火災の原因となります。
- 電源入力部に電源スイッチ等を設置する場合は、必ず活線側に電源スイッチ等を設置(両相とも活線の場合は両相に設置)する。※早期故障・電源オフ時にLEDが微発光する原因となります。

その他のご注意

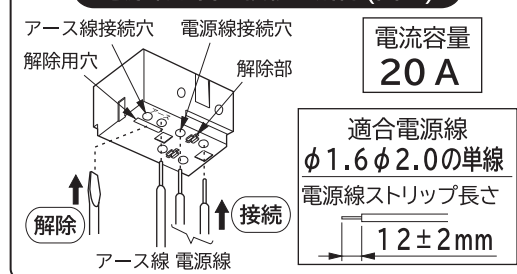
- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしない。※故障の原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意する。
不要動作を防止するため、感度電流30mAの高周波対応形漏電ブレーカーで最大58台としてください。
- 屋内と天井裏の温度差が大きく、器具に結露が発生するような環境では使用しない。
※不点灯・腐食・短寿命の原因となります。

各部の名前

※取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です



電源端子台の接続と解除(図1)



取り付けかた

1 取付前に確認する

- 器具質量(0.7kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。
ロックウール、珪酸カルシウム板等、柔らかい天井に取り付ける場合は天井材損傷、枠と天井面の間に隙間ができることがありますので、天井上面と取付バネの間に補強材を入れてください。
※不備があると天井材の破損、落下の原因となります。
- 平らな面に取り付ける。
取り付け面に凹凸がある場合、パッキンとの隙間を埋めて平らにしてください。
また、背面より水のかかる場所へ設置しないでください。
※指定外の実装は、絶縁不良による感電や火災の原因となります。

2 天井に埋込穴をあける

- 指定埋込穴径φ150⁺²₀ mmであける。
- 埋込穴をあける際は専用工具を用いてあける。

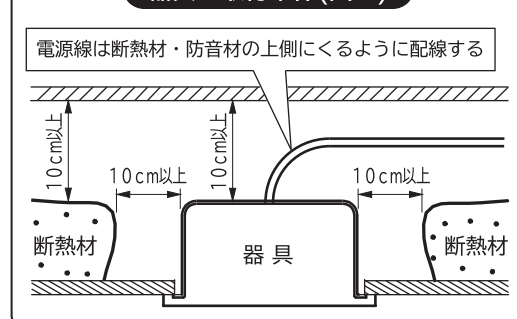
3 電源線・アース線を電源端子台に接続する(図1)

- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む。
- アース工事はD種接地工事を行う。
- 電源線は器具外郭に触れずに、断熱材・防音材の上側にくるように配線する。(図2)
- 電源線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押してははずす。アース線を解除する場合は、マイナスドライバーを解除用穴に挿入してははずす。

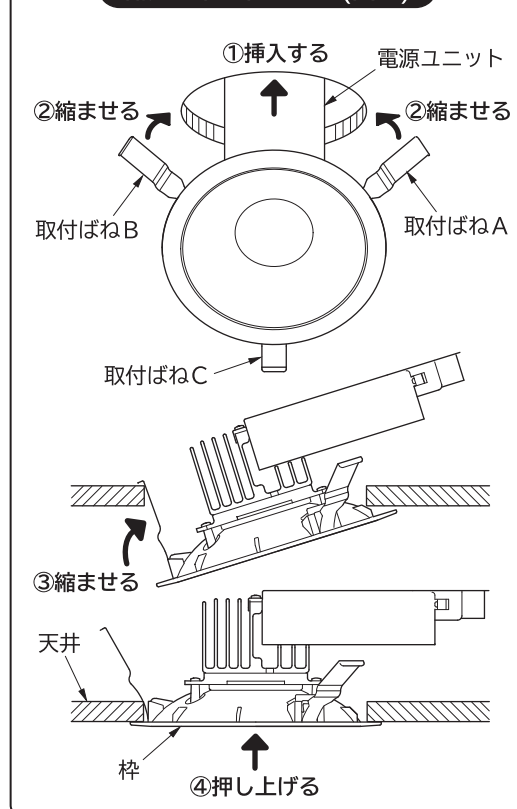
4 器具を埋込穴に入れる(図3)

- ① 電源ユニット側より天井埋込穴へ挿入する。
- ② 取付ばねA、Bを矢印の方向へ縮ませ、天井埋込穴に挿入する。
- ③ 取付ばねCを縮ませ、天井埋込穴に挿入し、枠を押し上げる。
- ④ 枠が天井に密着するまで枠を押し上げる。

器具の取付条件(図2)



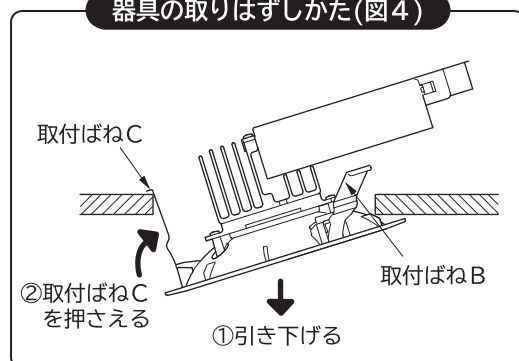
器具の取り付けかた(図3)



5 器具のはずしかた(図4)

- ① 枠をつかみ、ゆっくり下へ引き下げる。
- ② 最初に取り付ばねCを押さえながら枠を斜めに傾け、引っ掛かりをはずす。
注) 無理に引き下げると天井材破損の恐れがあります。
注) 天井材が厚いときは、取付ばねC(電源ユニットと反対側のばね)の上部を押してははずす。
- ③ 取付ばねA、Bの引っ掛かりを全てはずし、器具を取りはずす。
- ④ 電源端子台の解除用穴を押し、電源線を引き抜く。

器具の取りはずしかた(図4)



お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 警告

- 器具を分解、改造しない。※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具の隙間に金属類を差し込まない。※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。※火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる。※火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は10cm以上離すこと。器具の近くに可燃物等(ドアの開閉範囲、家具、布、紙等)を近づけない。
※過熱により火災の原因となります。

⚠ 注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。
※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない。
※器具の破損によりけがの原因となります。
- LED光源を直視しない。※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ご使用上の注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をする。
3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には寿命があります。LED光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換してください。
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。)
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても作動しないことがあります。
- 器具の近くで同時通訳機等の誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に作動しないことがあります。
- LED素子は製造上、発光色・明るさにバラツキがあります。同一型式の器具でもLED素子のバラツキによる発光色や明るさにムラが生じることがあります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

仕様

- この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	定格入力電圧(V)	周波数	入力電流(A)			定格消費電力(W)		
			100	200	242	100	200	242
WLDE2307WN WLDE2307WL	AC100~242	50/60Hz	0.109	0.055	0.047	9.9		
WLDE3307WN WLDE3307WL			0.159	0.076	0.067	14.2		
WLDE4307WN WLDE4307WL			0.200	0.092	0.081	17.4		

お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)



必ず守る

- 枠・カバーがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたらきれいな布を水またはうすめた中性洗剤に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。



禁止

- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。割れ・傷・変色・サビの原因となります。

- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れないでください。やけどの原因となります。

保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。また、照明器具に内蔵されている電源ユニットは3年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに、器具の型式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話(0120) - 335 - 762 受付時間：土日祝日を除く9:00 - 17:00

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話(03)3502-2111